

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 19 年 11 月 1 日 (2007.11.1)

【公開番号】特開 2006-144880 (P2006-144880A)
【公開日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)
【年通号数】公開・登録公報 2006-022
【出願番号】特願 2004-334430 (P2004-334430)
【国際特許分類】

F 1 6 H 15/38 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 15/38

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

本実施例の場合には、第一ピストン 26 a の内周縁部に内径側円筒部 66 を、第一ディスクである入力側ディスク 10 a の側に突出する状態で設けている。そして、上記内径側円筒部 66 を、特許請求の範囲に記載した回転軸である入力回転軸 5 の中間部外周面に、油密に、且つ、第一油圧室 27 内への圧油の給排に基づく軸方向（図 1 の左右方向）の変位を可能に外嵌している。又、上記内径側円筒部 66 の軸方向中間部で第二油圧室 31 の内径側に対向する部分の円周方向複数個所に、第二圧油給排路 32 a の一部を構成する為の通油孔 67、67 を形成している。更に、上記内径側円筒部 66 の内周面で、これら各通油孔 67、67 を軸方向両側から挟む 2 個所位置にそれぞれシールリングを設けて、上記第二圧油給排路 32 a に送られる圧油が、上記内周面と上記入力回転軸 5 の外周面との間から漏洩する事を防止している。又、第二ピストン 30 a の内周縁部は上記内径側円筒部 66 の外周面に、第二内径側シールリング 44 a を介在させる事により油密を保持した状態で、上記第二油圧室 31 内への圧油の給排に基づく軸方向の変位を可能に外嵌している。